

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立鳥羽高等学校)

1 目指す姿

| | | | | | |
|---------------|---|---------------|--|--------------|---|
| (1) 目指す学校像 | これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～ | | | | |
| (2) | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="185 365 376 667">育みたい 児童生徒像</td> <td data-bbox="376 365 1501 667"> ○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。 ○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。 ○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。 ○国際交流活動に取り組み、豊かな国際感覚を身につけている。 ○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="185 667 376 952">ありたい 教職員像</td> <td data-bbox="376 667 1501 952"> ○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。 ○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。 ○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。 ○コンプライアンスを遵守し、地域社会の一員として豊かな社会性を身につけた、信頼される教職員。 </td> </tr> </table> | 育みたい 児童生徒像 | ○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。 ○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。 ○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。 ○国際交流活動に取り組み、豊かな国際感覚を身につけている。 ○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。 | ありたい 教職員像 | ○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。 ○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。 ○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。 ○コンプライアンスを遵守し、地域社会の一員として豊かな社会性を身につけた、信頼される教職員。 |
| 育みたい 児童生徒像 | ○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。 ○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。 ○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。 ○国際交流活動に取り組み、豊かな国際感覚を身につけている。 ○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。 | | | | |
| ありたい 教職員像 | ○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。 ○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。 ○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。 ○コンプライアンスを遵守し、地域社会の一員として豊かな社会性を身につけた、信頼される教職員。 | | | | |

2 現状認識

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| (1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待 | <p>【生徒】 高校生活の充実（基礎学力の定着・発展的学力の伸長・部活動・仲間づくり）、進路実現</p> <p>【保護者】 子どもの学力・コミュニケーション力・社会性の向上、進路希望の実現、安全で安心して学べる学校</p> <p>【地域】 観光・防災等の地域の活性化への貢献、生涯学習・住民交流の場の提供、生徒の健全育成</p> <p>【企業・大学等の進路先】 社会的・職業的自立に必要な生徒の基礎学力・基本的生活習慣の育成・定着</p> | |
| (2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待 | <p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>【保護者】 子どもの進路実現、安全・安心の学校づくり</p> <p>【中学校】 生徒の進路保障、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域社会の活性化、生涯学習の場の提供</p> <p>【企業・大学等】 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の育成</p> | <p>連携する相手への要望・期待</p> <p>【保護者】 P T A活動等生徒の成長支援への連携・協力</p> <p>【中学校】 生徒の継続した成長支援のための情報共有、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域学習活動の機会・素材・人材の提供、生徒の健全育成活動での連携・協力</p> <p>【企業・大学等】 キャリア教育や地域学習等の素材・人材・場の提供</p> |
| (3) 前年度の学校関係者評価等 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、中高交流を再開できる手立てを考えて実現していただきたい。 ・授業形態が劇的に変化した。日常的に深い学びを実現できるように授業展開を再考願いたい。 | |

| | | |
|-----------|-------|--|
| (4) 現状と課題 | 教育活動 | <p>【現状】 地域の特性を生かした観光教育、地域学習の要素を取り入れた学習を通じて、生徒は総合的な学力をつけ、将来の地域社会を支える市民へと成長するための仕組みが整いつつある。多くの生徒が3年間の総合学科の多様な教育活動や部活動等を通じて大きく成長している。授業に向かう姿勢や服装、登下校のマナーも向上している。しかし一方で、十分な自尊感情を持ってない生徒や仲間との良好な関係づくりが苦手な生徒も見られる。</p> <p>【課題】 <新学習指導要領について> 今年度入学生より順次新学習指導要領に基づいた学習を行うこととなる。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、更に授業の見直しを図るとともに、地域課題解決型キャリア教育を実施し、鳥羽市や関連企業等との連携を更にすすめる必要がある。</p> <p><ICT教育について> 今年度入学生から、一人1台パソコンを購入することとなった。その活用についてさらに検討し、基礎学力の定着に生かすとともに、新しい時代に必要な資質能力の育成にいかしていく必要がある。</p> |
| | 学校運営等 | <p>【現状】 南勢地域で唯一の総合学科高校として、特色ある教育活動を展開しているが、伊勢志摩地域の中学校卒業者の急減等に伴い、募集定員を満たせない状況が続いている。若い教職員が多い職場であるため、若手と経験豊富な教職員が対話を通じて学び合う前向きな学校文化、風通しの良い職場風土を築くことが必要である。今年度から5年間の新しい学校活性化計画に基づいて学校の活性化を推進する。地域との連携を更に進めることで、地域から選ばれる学校づくりを進める必要がある。</p> <p>【課題】 昨年度は、コロナ禍においても様々な取組みを実践し、学校広報チラシをはじめ、様々なメディアで取り上げてもらったが、中学生やその保護者に十分に情報が届かず、入学定員に届かない状況が続いている。情報発信の方法を更に見直し、本校の現状を地域に理解してもらい、選ばれる学校づくりを進める必要がある。また、課題を抱えた生徒が多く入学してくる現状があり、支援を中心とした学校運営の視点を持ち、地域との連携を進める必要がある。</p> |

3 中長期的な重点目標

| | |
|-------|--|
| 教育活動 | <ol style="list-style-type: none"> 1 組織的な授業研究、授業改善及び教材開発に取り組み、子どもたちの基礎学力の定着・発展的学力の伸長を図り、一人ひとりの進路実現につなげる。 2 観光教育の視点での地域学習を推進し、体験的活動を通して、確かな学力や自尊感情、自らの未来を切り開く意欲・態度を育てる。 3 学力の向上とともに、部活動の活性化を促進し、地域社会に貢献できる人材を育成する。 |
| 学校運営等 | <ol style="list-style-type: none"> 1 総合学科ならではの教育力を高め、より良い教育を提供できるよう教員が互いに学び合う環境の充実に努める。 2 全職員がまとまって子どもに向き合い、一人ひとりの成長を支援できるよう、組織力の向上と前向きな学校文化の醸成を図る。 3 組織のしくみの改善や働きやすい職場づくりに取り組む。 |

| | | | |
|------------------------|---|---|----------|
| <p>生徒指導の充実</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①挨拶や言葉遣い、頭髪や服装等、基本的な生活習慣の確保や規範意識・コミュニケーション能力向上の指導を全職員で徹底するとともに、自尊感情を育む声かけを行う。</p> <p><input type="checkbox"/>挨拶指導の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>制服等の着こなし指導、異装束等の預かり指導の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>毎朝の登校指導、授業時間中の校内巡視の実施</p> <p>②人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムに基づき、計画的な人権学習を推進する。</p> <p><input type="checkbox"/>公開人権 LHR の実施:年1回</p> <p>【成果指標】(生徒満足度調査結果より)</p> <p><input type="checkbox"/>「基本的な学校生活習慣の定着に向けて、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合87%以上(昨年度 86.1%)</p> <p><input type="checkbox"/>「命や人権を大切にす指導が適切に行われている。」と回答した生徒の割合90%以上(昨年度 89.9%)</p> <p><input type="checkbox"/>「健康と安全(交通・防災・防犯など)について、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合87%以上(昨年度 86.1%)</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①○鳥羽高校版「授業のきまり」の徹底</p> <p>観察カードの活用</p> <p>○教員・生徒(生徒会役員)による朝のあいさつ運動を実施:教員は毎授業日実施、生徒会は11月に実施</p> <p>○毎日の登校指導、下校指導、昼休みの校内巡視</p> <p>○生徒会による地域防犯・交通安全ボランティア「鳥羽レンジャー」の取組:11月実施</p> <p>②○公開人権 LHR :1年生で実施 11/28</p> <p>○外部人材を活用した情報モラル講演会:11/14</p> <p>○薬物乱用防止教室:12/19 実施、性教育講座:12/12 実施</p> <p>○学校での居場所づくり「ほっとばカフェ」年4回開催 4/22、7/7、10/28、12/19</p> <p>【成果指標】</p> <p>○「基本的な学校生活習慣の定着に向けて、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合 85.3%</p> <p>○「命や人権を大切にす指導が適切に行われている。」と回答した生徒の割合 92.3%</p> <p>○「健康と安全(交通・防災・防犯など)について、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合 90.5%</p> | |
| <p>キャリア教育の充実と進路保障の</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①確かな進路実現に向けた細やかな進路指導とコミュニケーション力の向上に取り組む。</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①○朝学の実施</p> <p>○進学希望者向けの課外</p> | <p>◎</p> |

| | | | |
|---------------------------|--|--|----------|
| <p>取組</p> | <p>□全教員による実践的な面接指導の実施</p> <p>【成果指標】(生徒満足度調査結果より)</p> <p>□「生徒の進路実現に向けて効果的な指導を行なっている。」と回答した生徒の割合93%以上(昨年度 92.2%)</p> | <p>を実施</p> <p>○夏季休業中に全教員による面接指導を実施</p> <p>○全教員による「基礎学力勉強会」実施:9月、2月</p> <p>【成果指標】</p> <p>○「生徒の進路実現に向けて効果的な指導を行なっている。」と回答した生徒の割合 91.4%</p> | <p>※</p> |
| <p>学校の魅力化・活性化と地域学習の推進</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①各教科、系列の授業や「産業社会と人間」等での地域学習の充実を図る。</p> <p>□外部講師による地域学習・フィールドワーク:年間 20 回以上</p> <p>□鳥羽市との連携・協働による地域課題解決型授業の構築</p> <p>②デュアルシステム及びインターンシップの円滑な実施と課題改善に努める。</p> <p>【成果指標】</p> <p>□「系列の授業は、自分の将来の生き方に役立つ。」と回答した生徒の割合88%以上(昨年度 87.5%)</p> <p>□「産社または光・創タイムなどを通して、自分の生き方が明確になってきた。」と回答した生徒の割合77%以上(昨年度 76.7%)</p> <p>□「鳥羽高校での学習を通して、自分は成長している。」と回答した生徒の割合87%以上(昨年度 86.1%)</p> | <p>【活動指標】</p> <p>①○「産業社会と人間」で起業体験プログラム実施 12/17</p> <p>○外部講師による地域学習・フィールドワーク 20 回以上達成:鳥羽学、ドローン講習会、産業社会と人間、</p> <p>○学校間連携再開:福江高校(愛知) 11/15、松島高校(宮城) 12/4</p> <p>②○観光ビジネス系列で実施、総合福祉系列は感染症予防のため校内での実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>○「系列の授業は、自分の将来の生き方に役立つ。」と回答した生徒の割合 88.6%</p> <p>○「産社または光・創タイムなどを通して、自分の生き方が明確になってきた。」と回答した生徒の割合 69.8%</p> <p>○「鳥羽高校での学習を通して、自分は成長している。」と回答した生徒の割合 84.4%</p> | <p>◎</p> |

改善課題

- ・全教科において、授業規律の確保を目標に取組を進め、落ち着いた授業を受ける雰囲気確保できた。
- ・基礎学力の客観的な把握と定着のため、「基礎力診断テスト」を導入、基礎力勉強会を実施した。全校生徒および全教職員が、基礎学力の充実を目標に持つことができた。
- ・令和4年度入学生より、一人一台端末の購入が始まった。全ての教科科目で、ICTの効果的な利活用が望まれている。今後も、教職員間で活用事例を共有していきたい。
- ・特別指導は以前に比べて減少しているが、1年生等で学習意欲の低下等による指導が増加した。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|--------------|---|--|----|
| 情報発信・広報強化の取組 | <p>学校教育活動の情報発信と広報を強化する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学校公式インスタの更新: 週1回以上 <input type="checkbox"/> ホームページの更新: 週1回以上 <input type="checkbox"/> 学校情報誌の中学生への配布: 年間4回以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インスタフォロワー数: 300以上(令和4年3月31日現在208) | <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年10月よりスタートしたインスタグラムは毎週1回を目標に更新 ○ ホームページは随時更新中 ○ 学校情報誌「清き渚」: 10月、11月、12月、2月の4回発行 ○ 鳥羽市内・伊勢市内及び近隣市町村中学生全員に配布 ○ 鳥羽市内自治会への情報提供 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インスタグラムフォロワー数345(令和5年3月1日現在) | ◎ |
| 働きやすい職場環境づくり | <p>(1) 業務の精選や改善、校内組織の点検等を行い、総勤務時間の縮減を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1時間以内に終了する会議の割合: 放課後に行う会議の80%以上 <input type="checkbox"/> 定時退校日の定時退校率: 全職員の80%以上 <input type="checkbox"/> 予定通り休養日を実施できた部活動の割合95%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1人当たりの月平均時間外労働25時間以下 | <p>(1)</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間以内に終了した会議の割合 90.2% ○ 学校行事計画に定時退校日を設定 ○ 定時退校率 95.9% <p>【成果指標】</p> | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <input type="checkbox"/> 年360時間を超える時間外労働者数0人 <input type="checkbox"/> 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人 <input type="checkbox"/> 1人当たりの年間休暇取得日数 10日以上 (2)「信頼される学校であるための行動計画」の取組推進 【活動指標】 <input type="checkbox"/> コンプライアンスミーティングの実施:年3回以上 | ○1人当たりの月平均時間外労働 19.5h ○年 360 時間を超える時間外労働者数 5 人 ○月 45 時間を超える時間外労働者の延べ人数 37 人 ○1 人当たりの年間休暇取得日数 16.6 日(夏期特別休暇含む) (2) 【活動指標】 ○コンプライアンスミーティング年 5 回実施 | |
|--|--|--|--|

改善課題

- ・学校の情報発信は計画的に進めることができた。インスタグラムや学校通信は好評を得ている。
- ・働きやすい職場環境づくりについては、課題が残る結果となった。学校全体での仕事量の削減や、分掌内で仕事の割り振りを再定義する必要がある。

5 学校関係者評価

| | |
|----------------------------|---|
| 明らかになった改善課題と次への取組方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・前後期選抜受検者数は、昨年度比で 1.4 倍増となった。今後も鳥羽高校の魅力を PR していってもらいたい。また何をきっかけに鳥羽高校を選んだのかを入学生に聞くなどして、さらに選ばれる学校づくりをしていってほしい。 ・コロナ禍の中でも徐々に外部との交流は再開し始めた。以前は小学校などの出前授業なども行っていた。地域との交流を増やし、地域の中で生き生きと活躍している姿をまたみたい。 ・系列を見直し魅力化を図る場合、観光都市「鳥羽」を学びのフィールドとしたものを取り入れてもらいたい。 |
|----------------------------|---|

6 次年度に向けた改善策

| | |
|---------------------|--|
| 教育活動についての改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・デュアルシステムやインターンシップ、出前授業などの地域交流を本格的に実施 ・「とぼっ子市場」や「ほっとばカフェ」など生徒のやる気や自己肯定感を高める活動の充実 ・基礎学力の定着を目指した取組の継続 ・基本的な学校生活習慣の定着指導の強化 |
| 学校運営についての改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある教育活動の定期的な発信 ・校内委員会の見直しや会議等の精選 ・魅力ある系列の再編成 ・定時退校、部活動休養日の徹底、総勤務時間の縮減 |